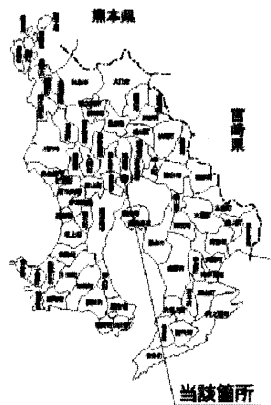
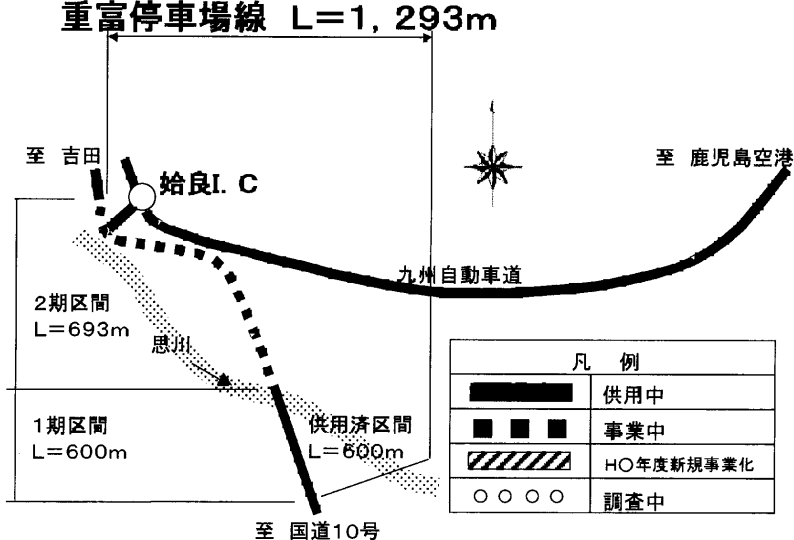


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課

担当課長名：栗田 泰正

事業名	しげとみていしやじょうせん 重富停車場線	事業区分	街路	事業主体	鹿児島県										
起終点	あいらちようおおあざひらまつあざじょうせやました 自：鹿児島県始良町大字平松字城瀬山下 至：始良町大字平松字川原田				延長 1.3 km										
事業概要 川跡線は、国道10号から九州縦貫自動車道始良インターに至る延長約3.8Kmの主要な幹線道路であり、鹿児島空港へアクセスする重要な路線である。当該事業区間は、インター交差点を含めて整備する延長1.3Kmの2車線道路である。															
H6年度事業化		S43年度都市計画決定 (H11年度変更)		H6年度用地着手											
H7年度工事着手															
全体事業費		約30億円		事業進捗率 92%											
計画交通量		6,995台/日													
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/ (事業全体) 5 / 36億円		総便益 (残事業)/ (事業全体) 110 / 110億円											
	(残事業) 3.1	事業費：4/35億円 維持管理費：1/1億円		走行時間短縮便益：110/110億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：0/0億円											
22.0				基準年 平成15年											
事業の効果等															
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（第2種空港「鹿児島空港」へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（総重量25t車両が通行できない区間を解消する） 															
関係する地方公共団体等の意見 重富停車場線は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、始良町をはじめとする関係1市7町の首長で構成される加治木地区土木協会より早期整備の要望（平成10年7月）を受けている。															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 九州縦貫自動車道始良インターの利用車数が年々増加しており、平松地区における交通渋滞は、ますます深刻化している。															
事業の進捗状況、残事業の内容等 当初計画のとおり、平成12年度にはI期工事600mを完了し供用を開始している。															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在残る693mについて、計画のとおり事業を進めており、平成15年度には293mの供用を開始し平成16年度完了の予定である。															
施設の構造や工法の変更等				変更なし											
対応方針		事業継続													
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。															
事業概要図															
 <p style="text-align: center;">計画交通量 6,995台/日</p>	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">重富停車場線 L=1,293m</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p>至 吉田</p> <p>2期区間 L=693m</p> <p>1期区間 L=600m</p> <p>至 国道10号</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>始良I.C</p> <p>九州自動車道</p> <p>供用済区間 L=500m</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>至 鹿児島空港</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">—</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">■ ■ ■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">▨ ▨ ▨</td> <td>H0年度新規事業化</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">○ ○ ○</td> <td>調査中</td> </tr> </tbody> </table> </div>					凡 例		—	供用中	■ ■ ■	事業中	▨ ▨ ▨	H0年度新規事業化	○ ○ ○	調査中
凡 例															
—	供用中														
■ ■ ■	事業中														
▨ ▨ ▨	H0年度新規事業化														
○ ○ ○	調査中														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。